MITSUBISHI ELECTRIC

三菱エアパス用ファン
〔居間・事務所・店舗用〕

形名 V-08PF6・V-12PF6 据付説明書

販売店・工事店様用

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。
- 市販の３路スイッチも使用できます。

形　名	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PF6	角形格子グリル	速結端子	●塩化ビニル管 …VP、VU（呼び径100㎜） ●鋼板管（内径100㎜）	●木ネジ …4本
V-12PF6			●塩化ビニル管 …VP、VU（呼び径150㎜） ●鋼板管（内径150㎜）	

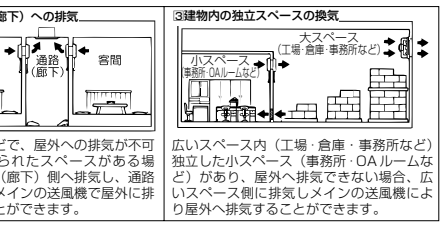
お願い

- **高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。**（故障の原因になります）
- **塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。**（故障の原因になります）
- **アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。**（振動の原因になります）
- **天井裏・屋外へ直接排気するところおよびトイレには据付けないでください。**
- **壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。**
- **吹出側に火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上離れたところに据付けてください。**
- **効果的な換気を行うために給気口を設けてください。**

安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

■部屋から部屋への排気・送風ができます。



空調ゾーンから非空調ゾーンへ、暖かさ・涼しさを送風することができます。

飲食店などで、屋外への排気が不可能な仕切られたスペースがある場合、通路（廊下）側へ排気し、通路側にあるメインの送風機で屋外に排気することができます。

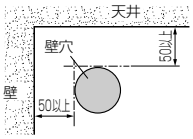
広いスペース内（工場・倉庫・事務所など）独立した小スペース（事務所・OAルームなど）があり、屋外へ排気できない場合、広いスペース側に排気しメインの送風機により屋外へ排気することができます。

据付方法

⚠注意
- **湿気の多い場所（浴室、シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など）、結露する場所には据付けない**
（感電・故障の原因）

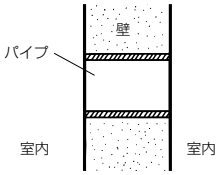
1. 据付け前の準備（壁穴へのパイプの固定）

1. **据付け場所を決めて穴をあける。**
   - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
   - 必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



単位（㎜）

2. **壁穴にパイプを確実に固定する。パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。**
   - 電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
   - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。



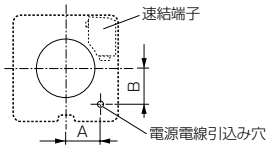
2. 電気工事

⚠警告
- **交流 100V を使用する**
（直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因）

⚠注意
- **電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
（接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因）
- **電気工事は電気工事店に依頼する**（感電の原因）

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
- 吸込側・吹出側の両方から入・切操作をする場合、市販の3路スイッチを用意してください。

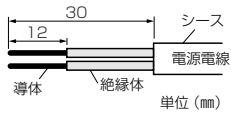
1. **電源電線を下図の位置から室内に引き込む。**
   - 電源電線は VVF φ 1.6、φ 2.0　2 芯をご使用ください。



単位（㎜）

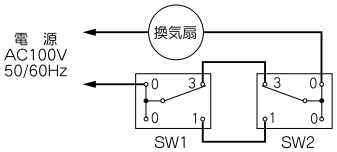
形　名	A	B
V-08PF6	50±5	60±5
V-12PF6	55±10	85±10

2. **電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。**
   - 端子部への水・ほこりの浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



単位（㎜）

〈3 路スイッチを使用する場合〉

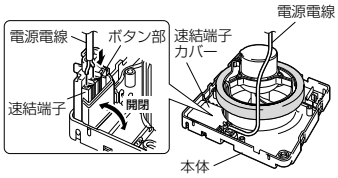


3. 本体の据付け

吸　込　側

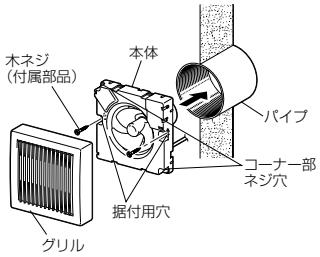
1. **本体からグリルをはずす。**
2. **電源電線を速結端子に差し込む。**
   ①速結端子カバーを図のように開ける。
   ②電源電線を速結端子に差し込む。
   ③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。

   お願い
   - 電源電線の皮むき部分は確実に速結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
   - 電源電線は軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
   - 電源電線は本体面に密着させて配線してください。
   - 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源電線を引き抜いてください。



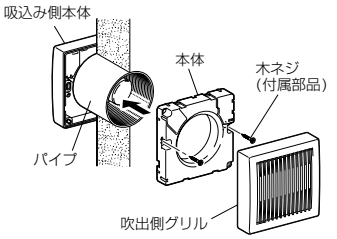
※図はV-08PF6を示す

3. **本体の上下を確認してパイプに差し込み、付属の木ネジ２本で本体を固定する。**
   - 左右の据付用穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部ネジ穴（V-12PF6は上下部ネジ穴）をご使用ください。
   - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。
4. **グリルを本体に取付ける。**
   - グリルの方向を間違えないよう本体に取付けます。
5. **以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。**
6. **試運転を行う。**
   - 換気扇が運転・停止するかを確認してください。
   - 異常な音・振動などないかを確認してください。



吹　出　側

1. **グリルを本体からはずす。**
2. **本体の上下を確認してパイプに合わせ付属の木ネジで本体を固定する。**
3. **グリルを本体に据付ける。**
   - グリルの方向を間違えないよう本体に据付けます。
4. **以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。**



長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- 本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921-2

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温　度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	「仕様」による
想定時間	1 年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410 時間 / 年 居室　2193 時間 / 年 トイレ　2614 時間 / 年 浴室　1671 時間 / 年	

注[a)] 24 時間換気のものは、8760 時間 / 年とする。